

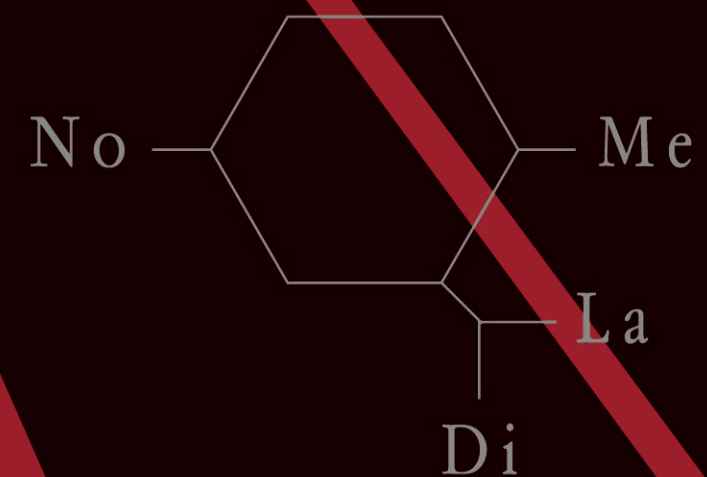
QURUWA 新風習入門

リノベーションまちづくりの化学反応

begining

Vi

Ex



Timeline

Ch Ch Ch Ch

予習



岡崎市は愛知県の旧三河国のほぼ中央に位置する、江戸幕府を開いた徳川家康公の生誕地として知られる都市です。岡崎城のある岡崎公園のほか、市内には矢作川、乙川(おとがわ)が流れ、岡崎市民にとっての原風景をつくっています。

岡崎市の中心市街地(康生地区)は、中世には鎌倉街道、江戸時代には東海道宿場町、そして武士、商人、町人が城下に住み生活を営んでいた五万石城下町として栄え、明治時代には額田県の県庁、警察署、税務署、裁判所、郵便局、図書館、職業安定所、保健所などが建ち並ぶ、西三河の中心として賑わいました。

全国的には「八丁味噌」の産地として知られていますが、「石都」としての顔も持っており、伝統地場産業として石製品、花火や三河仏壇などが挙げられます。研究教育施設や史跡の多さもまちの特徴と言えるでしょう。

戦後の戦災復興土地区画整理事業や昭和40年代後半に全国第一号の民間による再開発事業である康生地区の市街地再開発事業により現在の都市基盤が確立され、それに伴い康生地区への商業集積が起こり、岡崎市の顔として市民に認知される場所となります。

90年代後半にはモータリゼーションの進展により中心市街地に求められる役割が変化し、大規模集客施設の中心市街地外への立地、岡崎市民病院などの公益施設や行政機能の拡散等により、当時の大変な賑わいは現在では鳴りをひそめてしまいましたが、現代に即したまちの発展を目的に、2015年度より「乙川リバーフロント地区のまちづくり」がはじまります。2017年度には「QURUWA」と呼ばれる、名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、桜城橋、中央緑道、籠田公園、りぶら、岡崎公園など公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線が設定され、公共空間と民間不動産を再生するエリアリノベーションが進められています。

緩やかに流れる乙川、河川敷の向こうに広がる街並み、その先に建つ岡崎城。この風景の基本構造は数百年、変わっていません。

時は流れ、日本の近代化と並走するように、国道 1 号線が走り、都市開発が進み、市民とまちとの距離が少し遠くなった時期もありましたが、私たちはここを原風景として育ちました。それは、次の世代の子供たちも同じです。

そして、今。

岡崎の変化は個人的な暮らしや動機の中から生まれてきています。よく通りかかる場所に使われてない建物があったから、公園の近くでお店をはじめたいという人がいたから、歩いて行けるご飯屋さんがあったらいいと思っていたから ……。

まちそのものと人の意識の中に散らばっている偶然が出くわし、必然に変わっていくときに物事が動き始める。岡崎市の「リノベーションまちづくり」は、そうしてはじまり、偶然を引き起こすたくさんの個性豊かな因子が生まれやすい環境が少しづつ整ってきました。

その大きな呼び水になっていたのが「乙川リバーフロント計画」。旧城下町に広がる河川敷や緑地帯の整備、公園のリニューアル、新たな人道橋の完成と橋上建築、なんなら歩道も使ってみようというこの壮大な計画には、岡崎というまちでの長い歴史の積み重ねと、様々な立場・属性の人の思いが詰まっています。ちょうど国家戦略や規制緩和など社会全体のベクトルがパブリックスペース再編に向かい、これらの動きが加速したこともうまくフィットしていました。

その後、計画段階からプロジェクトベースに移行していく段階で「QURUWA」が立ち上がります。まちに点在する資源を利活用するエリアリノベーションと、暮らしそのものを未来志向型へと転換するランドデザインを掲げ、実行・実現していくというものです。

この 5 年で、個々人のアクションと公共の戦略 / 戦術が有機的に融合し、化学反応が引き起こされました。ある程度予測できていたこともあれば、半信半疑で進めざるを得なかった迷走もありました。

結果は約束されているものではないし、見えている以上の反応が知らず知らず生まれてくることがまちと人の健全な状態とも言えます。まちはひとつのものでは括れません。語られていることが全てでもありません。ただ、ひとつひとつが動きだした「きっかけ」は、ここに登場する場所や人、プロジェクトによって、どこかで誰かの何かの因果関係にあり、それがまちという生き物そのものを物語っています。

5 年前「岡崎市リノベーションまちづくり」という旗が掲げられたあたりからの化学反応が徐々に目に見える形になってきたこと、それをようやく実感できる今日この頃です。この冊子は、そんな岡崎のある特定エリアにおける 5 年の変化を様々な記録しようとするものです。

山田高広（三河家守舎）

QURUWA 新風習入門

— リノベーションまちづくりの化学反応 —

INDEX

- 00 予習 the beginning
- 03 はじまり・概説
- 04 視覚変化 Visual
- 06 体験変化 Experience
- 08 意識変化 Notice
- 10 情報変化 Media
- 12 変化辞典 Dictionary
- 14 景観変化 Landscape
- 16 変化年表 Time line
- 18 登場人物 Characters
- 20 復習 to be continued

GUIDE

以下のページでは、岡崎のまちにおける変化の中心 QURUWA の、とりわけリノベーションまちづくりの舞台となったエリアである籠田公園周辺の変化をカテゴリーに分けて紹介していきます。場所、イベント、メディア、公共空間という 4 つのカテゴリーに含まれるまちの変化とあわせて、リノベーションまちづくりの OB/OG や関係者に、「そういえば」というはじまりから、コメントを寄せてもらいました。みなさんの QURUWA との関わりや現在の活動とあわせてご紹介していきます。

体験変化

まちに開かれたイベント

EXPERIENCE
：辞典参照



Photo : Chiaki Toyozumi

アウトドアウェディング @ 籠田公園

リノベーションスクールのOGである岡田みなみさんが、籠田公園を活用して2017年にアウトドアウェディングをしました。各地でアウトドアウェディングを手掛けるHappy Outdoor Weddingの柿原さんを招いてトークイベントも実施。これをきっかけにしている人々も増え、みんなで結婚式をつくりあげました。地元企業である岡崎製材さんの協力でアウトドアウェディングのためのツール「Public Wedding Kit」も完成。



後TAC-MATEとスペースDM710を開設予定。
クリエイターを対象に一般参加者を公募し、これからの〇〇を考えるプロジェクト。
今回の「〇〇」は、連尺通りのローカル・コンビニとし、2019年2月から2020年8月まで実施。プロジェクトの筋道をつくる「クリエイティブ・ディレクション」を高め合う実践型ワークショップ。参加者のサイトウレオさんはその

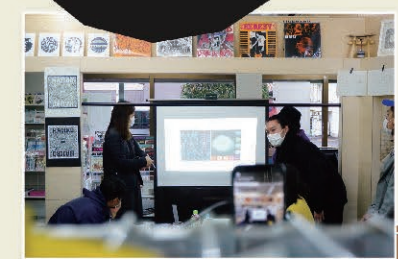


Photo : Yu Yoshikawa

スナック檸檬

檸檬(▶19頁)主催「都市の隙間に入り込む」スナック。ICHIRYUDO BUILDING(▶4頁)の屋上や乙川河川敷でのオープンスナック、エキユメ(▶4頁)さんの風除室や籠田公園西の飲食店やなぎさんのガレージなど、店舗の一角を借りてのポップアップスナックなどQURUWAの各所が舞台となっています。



Photo : Takuo Yamada



Photo : Chiemi Maeda



連と尺蠖の市 @ 連尺通り

2019年秋から始まった連尺通りを舞台とした市民参加型のストリートマーケット。連尺通りに暮らす人、商売をする人、アーティストやクリエイターらが出店。お店の中や駐車場、軒先などで初出し雑貨や服飾、飲食屋台が並び、音楽イベントなども開催されます。



おかざき連尺一箱古本市

連尺通りを舞台に、だれでも1日限りの本屋さんになれるフリーマーケット型の古本市。店舗のみならず個人が自分の持っている書籍を販売。近隣のエキユメやwagamama house(▶4頁)のような飲食店も出店し、たくさんの人でにぎわいました。



Photo : ペン



意識変化

そういえば○○○

①肩書／所属 ②QURUWAの過ごし方

：辞典参照

そういえば、**トレジャーハンティング**で、一参加者として個性的なメンバー達とユニットワークをしたことで、仕事に対する考え方や、まちに対する意識が変わった気がしますね。それまでは、【個人の小川】と、【市職員の小川】が、いろんな意味で混同することが多く、少し迷っていた部分がありましたが、民間のマインドを理解した上で「市職員の小川」だからできることは何なのか」ということをシンプルに意識できるようになりました。

小川貴之

- ① 当時 岡崎市商工労政課にぎわい創生係
現在 岡崎市スポーツ振興課スポーツ事業推進係
- ② 職員の仲間と、空き店舗を借りて、不定期で小規模なイベントなどを実施(ここdeやるZONE(通称:ここやる))してますが、ほぼ幽霊部員。。。

そういえば、独立したばかりの時に、FILT.の反端さんから、リノベーション工事中だった一隆堂ビル4階の物件を紹介してもらった事をきっかけに、この場所に事務所を構え、地域に関わるお仕事やらせてもらうようになりました。一隆堂ビル3階に2020年6月オープン美容室をディレクションしています。

岡田侑大

- ① KERUN
- ② 毎日の通勤や買い物、散歩などで近隣を歩く事が多いので、すれ違う人と挨拶を交わしたり、立ち止まって少し会話したり、生活の中で生まれるコミュニケーションを楽しんでいます。

そういえば、東京で生活をしている時にYouTubeでリノベーションまちづくりの動画を見させていただいたことが地元に戻るタイミングのきっかけであった気がします。帰省する度に「なにもない」と思っていた地元。動画を見終わった直後には、自分も参加したいなあとPCの前でワクワクしたことを覚えています。リターン後、多くの方々とのご縁を頂き現在は**二七市通り**にてteraco8.という学び場をつくっています。

田中崇善

- ① teraco8.
- ② 天気の良い日にテイクアウトできるお店でランチや飲み物を買って、景色を見ながらゆっくりと読書をしたいです。

そういえば、社会人になってすぐの仕事が、**気になる家守の会**のフライヤーとそこで配る資料の制作でした。現代版家守のことや、単なる改装だけではないリノベーションまちづくりについて初めて知りました。当日の会場には、東京から来た専門家として**清水先生**や**鶴田さん**もいれば、当時改装中のICHIYUDO BUILDING(※4階)のオーナーもいたり、普通に近所の人もいたり、市役所の人がいったり、いろんな面から関わる人がたくさんいるプロジェクトなんだなあと感じた記憶があります。

下里杏奈

- ① 檸檬
- ② 連尺通りでの生活**社会実験**に携わっていて、通りの観察をしていました。今では時々遊びに行きます。

そういえば、7年前までは岡崎市に観光すら来たことがなかったのに、今や人生で最も好きなまちになってます。それは**緑道ワークショップ**や**社会実験**、**リノスグ**を通じて、このまちに入り込んで、魅力的な場所をたくさん見つけたこともありですが、それ以上に、このまちを愛して、自分自身でこのまちを変えよう!と、粉骨砕身走り回っている魅力的な人たちと出会ったからだだと思います。何か始めることは大変なことばかりですが、みんなで楽しみたいですね!

深澤創一

- ① 株式会社小林清文建築設計室
studio36一級建築士事務所
- ② 家族みんなで、リブラで本探し、岡崎公園散歩からはじまり、伊賀川で川遊び、籠田公園でランチ、乙川マラソンやBBQ、最近はりノベ案件で工事手伝い、と遊び方も濃密になってきました!

そういえば、僕がこの街に関わるきっかけとなったのは、高校同期の稲垣くん(三河家守舎(※18頁)、エウレカ)に誘われた「**岡崎デザインシャレット**」の講評会でした。空きビル改修や関連イベントを幾つか担当させて頂いたのですが、そのどれもがもう本当に大変で。特に、はじめての案件となった連尺のグラスパークビル(※4頁)改修工事が完了した時には、「次はないな」とまで思ったのですが、気が付けばあれから4年。懲りずに今日も大好きなこの街で工事を進めております。

足立拓哉

- ① アイシン開発株式会社
studio36一級建築士事務所
- ② 籠田公園に良く行きます。娘を連れて遊びに行くのは勿論、時にはパソコンを開いてアウトドアオフィスとしても使っています。帰り際、家族へのお土産として一隆堂の手焼き煎餅を買って帰るのが定番となっています。

そういえば、リノベーションまちづくりのシンポジウムで「ほしい暮らしは自分でつくる」という話を聞いて、そのままのノリでスクールに参加して、そこで出会った人達との繋がりで、籠田公園でのアウトドアフェディングでガゼボを作ったり、**QURUWA**のイベントで、パン屋さんの屋台を作ったり、**乙川**の**設備テラス**では、お店の設営をやったりと、ものづくりを通して、街や人との繋がりがたくさん出来てきたなあ。街の便利屋さんの感じで関わって嬉しい。

堀竜二

- ① 岡崎製材 素材工房 職人 / 籠田アウトドアフェディング
- ② **乙川**でキャンプ。いろんなイベントに顔出してます

そういえば、第2回リノベーションまちづくりの参加がきっかけになり、気がつけばラーメン屋の新規開業を東京の地で携わることに。その活動がヒントになって、キッチンカーでの出店やお取り寄せ商品の開発なども考えるようになりました。今は豊島区雑司が谷を中心に**都電家守舎**の一員として都電沿線でのまちづくりに専念していますが、**QURUWA**の情報も随時チェックしていますのでイベントなどで岡崎出店したいですね!

梶谷智樹

- ① 都電テーブル雑司が谷 店長
- ② 岡崎のまちの情報はチェックしてます!

そういえば、ありがたいことにアウトドアフェディングに協力してくれる人がたくさんいて、自分の関係人口が急激に増えました。結婚式で、一般的には親族と友達の中でも仲の良い子だけでやるものだったと思うんですけど、面白がってくれる人が多く、「こういうのがあるよ」「こういう人がいるよ」とどんどん情報が集まりました。普通は、そういうヒト・モノが揃っていても業種の枠を越えて繋がっていないためにそれぞれが知り合っていないことが多いと思います。公園から近いエリア内ではほぼすべて用意できたのは、岡崎のすごいところだと思います。

近藤みなみ

- ① NPOスタッフ(アジア車いす交流センター-WAFCA)
- ② 自分のウェディングパーティー開催のあと、声をかけていただいてオリジナルウェディングのお手伝いを何度かやらせてもらいました。

そういえば、不動産とか建築とか右も左もわかつちやいなかったけど、ただ一心に自分のお家(子供の故郷)を探し、譲り受けた六供町の古家を大工さんと(怒られつつも)せっせこなおして、材料(解体現場、B品)も設備(ヤフオクとホームセンター)も断熱(新聞紙の細かいやつを噴射)のこととかも自分なりに解釈・調達したことが、すべてのはじまりでした。もはや何屋かは自分でもわかりませんが、世の中で提供されている選択肢以外の未来をつくったほうが楽しいですね。

山田高広

- ① 三河家守舎
- ② 家族の最小最適生活行動範囲として、買い物、犬の散歩、通学、習い事、趣味、お仕事のあらゆることをこのまちで楽しませてもらってます

そういえば、第一回目のリノベーションスクールでwagamama house(※4頁)と一緒に立ち上げたことがきっかけで、まちの見え方が変わり、まずはInstagramを使い自らの視点で切り取った岡崎を伝えてみることに。身近な「好き」を見つけてを発信し続けることで岡崎の魅力はそこにいる「人」たちであることに気がつきました。現在は新たに**#岡崎カメラ**のチームの一員として岡崎の暮らしに寄り添った魅力を伝えるプロジェクトを準備中。

山本倫子

- ① 2代目大家(将来)
マップ「未知とアンテナ」企画・文章・広報。
- ② Instagram @michinomachi にて自らの視点で紹介したい人、場所を日々投下中。また、**#岡崎カメラ**としても今後活動スタート。

そういえば、(QURUWAの)公民連携まちづくりへ強い思いをもったきっかけは、2013年に国土交通大学校「都市行政研修」で、アフタヌーンサエティ**清水さん**、エリア・イノベーション・アライアンス木下さん、OpenAの馬場さんの話を聞いたことでした。あそこで強くスイッチを押された感じです。その3名のおもしろすぎる話は本当に衝撃的でした。その際に、公民連携まちづくりに関わりたいと強く思ったことを覚えています。さらに**リノスグ**@岡崎でのサポートスタッフとしての経験や公民連携プロフェッショナルスクール(現都市経営プロフェッショナルスクール)の受講により、その思いが加速され、パブリックとプライベートそれぞれで強い思いをもって活動することになりましたね。

中川健太

- ① 岡崎市都市施設課QURUWA戦略係
- ② 週2回/程度QURUWAのまちを見ながらランニングしたり、こどもたちと一緒に籠田公園、**桜城橋**、**乙川**に訪れ遊んでいます。

全国に広がる、 リノベーションまちづくり

2010年に北九州市小倉魚町で始まった

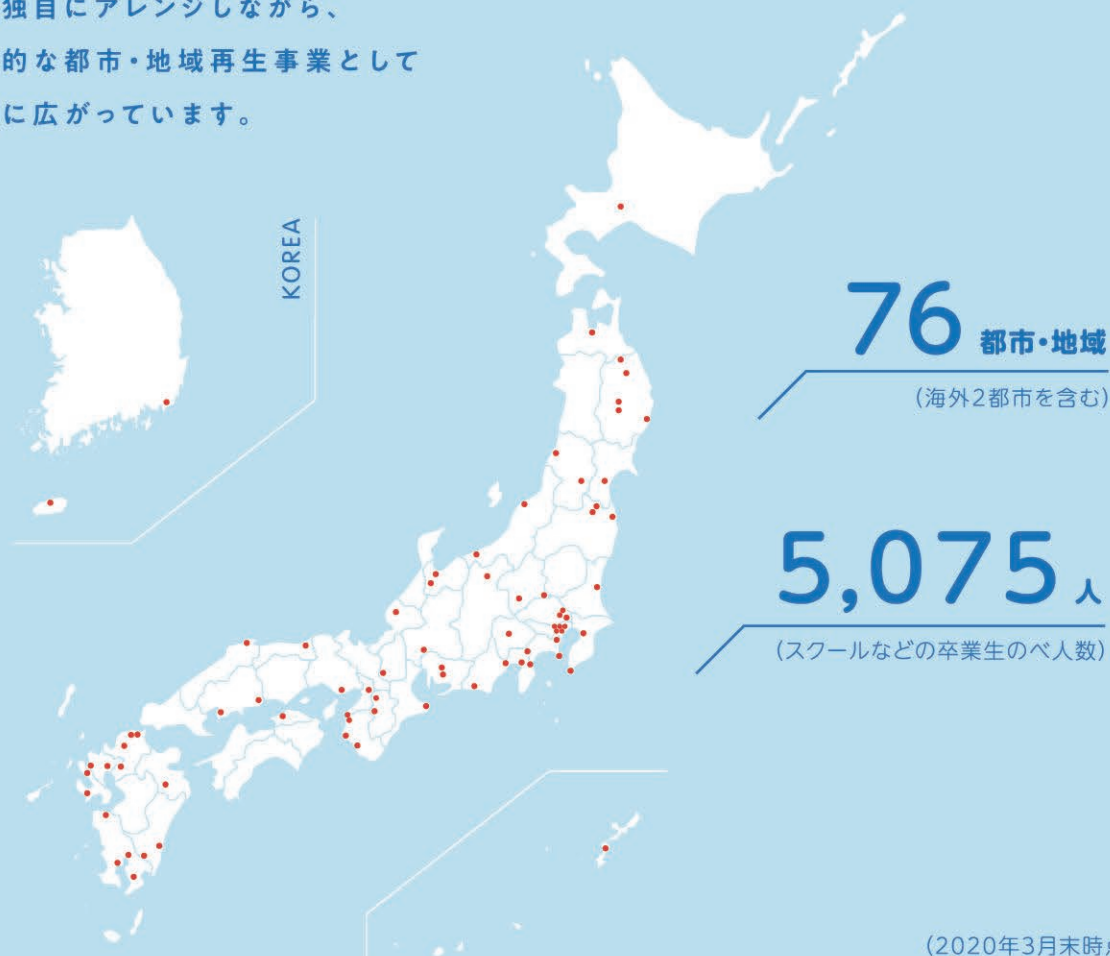
リノベーションまちづくり。

リノベーションスクールなど新しいまちづくり手法を

地域独自にアレンジしながら、

効果的な都市・地域再生事業として

全国に広がっています。



まちの潜在資源を活用して都市・地域の経営課題を解決する

リノベーションまちづくりとは、「今ある資産を活用して自治体の都市・地域経営課題を解決していくこと」です。ここでいう「今ある資産」とは遊休不動産などの空間資源にとどまらず人的資源や歴史的資源も含んでおり、それらの資源を余すことなく活用することで、なるべく低コスト・低リスク・スピーディーに事業を生み出し育てることを意図しています。必ずしも空き家のリノベーションありきの手法ではありません。

「自治体の都市・地域経営課題を解決する」とは、具体的には自治体の財政状況の健全化を指しています。リノベーションまちづくりでは、エリアの価値（エリアに対する期待値）を上げることで路線価が向上し、固定資産税が増えることで自治体の財政をより健全な経営状態に近づけることを目指しています。

全国のリノベーションプロジェクトや

リノベーションスクール等の開催情報はこちら

\\ 全国に広がる「リノベーションまちづくり」を応援するサイトです。//
www.re-re-re-renovation.jp rerererenovation!



情報変化

Media

まちの温度を伝えるメディア

未知とアンテナ

パンフレット+SNS

誰から頼まれたわけでもなく、仕事でもなく、リノベーションスクールOGである岡崎市に住む同年の山本倫子（トナリ）さんと山崎翔子さんの「このまちのMAPをつくりたい」という気持ちから生まれた自主制作マップです。公開とあわせてまち歩きなどのイベントもおこなわれました。



hey okazaki

ウェブ

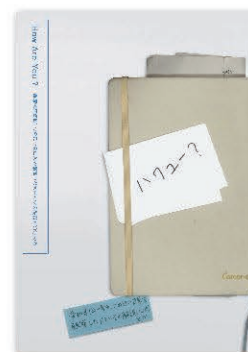
岡崎に移住した暮らしがた冒険家の伊藤菜衣子さんが編集する、心地よく暮らし、働くひとたちをたぐりよせるパーソナル視点のローカルメディア。



ハワユ

冊子

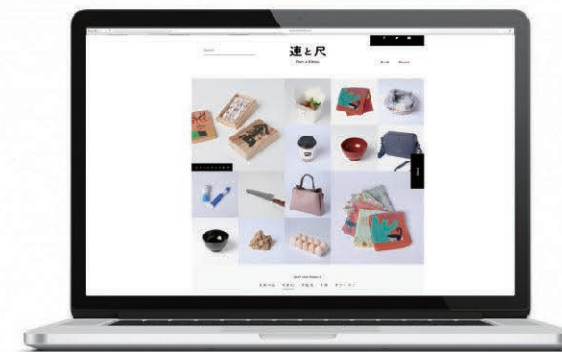
岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会発行の、まちの日常を伝えることを目的にした冊子。檸檬（トナリ）の二人が連尺通り300m界限にある店舗やそこを切り盛りする人々を観察し、観光客向けではなく、同じ生活者の目線から普段の暮らしを紹介しています。観察記録のメモをそのままデザインに生かしたような誌面づくりがなされ、独特な雰囲気を出しています。



連と尺

ウェブ+SNS

連尺通りという約300メートルに焦点を当てるローカルなウェブマガジン。日々の生活を送るお店やそこで扱う商品、個性的な店主らを紹介しています。ウェブにつながるQRコードをあしらった告知用のステッカーや、同じQRコードが吊るされた連尺通りに浮かぶバルーンなどを駆使し、訪れる人たちに広くアクセスされました。



変化辞典

あ

【岡崎カメラ】

「岡崎カメラがつこう」を受講したかたのうち有志で活動するローカルフォトプロジェクト。「岡崎カメラがつこう」で学んだことを活かしてまち歩き(まちを歩いて、そこで商店を営むかたなどに話を伺いながら、撮影する)をし、そこに住む人にスポットをあて、笑顔や暮らしの様子を写真に撮って全国に発信している。

【岡崎カメラがつこう】

写真を通して人と人が繋がることでまちの魅力を発見し発信する力を身につけていくスクールプログラム。岡崎市広報課シニアフロモーション推進係が実施。講師は岡崎市出身で「小豆島カメラ」メンバーとして現地で活動する三村ひかりさんと「ローカルフォト」でまちの魅力を発見発信する写真家MOTOKOさん。

【岡崎デザインシャレット】

2015年8月2日から9日の8日間、大学生が中心となってチームを組み、市民や行政、専門家の意見を参考にしながら「乙川リバーフロント」地区のまちづくり」の提案をまとめていく短期集中型のワークショップ。太陽の城跡地」と中央緑道の設計プランを提案した。デザインシャレットとは、1週間程度の短期間に様々な領域の専門家や行政、住民と意見交換を重ね、議論を重ねながら具体的な計画案を示し最終的な合意案を導き出す手法。

【乙川】

岡崎市を東西に流れる、一級水系矢作川最大の支流。河川空間活用を進めるおとがワインダーランドの活動場所になるなど、岡崎市のまちなかにおける原風景となっている。

か

【気になる家守の会】

岡崎市の「リノベーションまちづくり」の環として、家守の役割やリノベーションの事例発表を行ったイベント。2016年6月に第1回目が開催された。

【QRUWA】

乙川リバーフロント地区(RF地区)約157haの多様な魅力を味わうことができる約3kmのまちの主要回遊動線。名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、桜城橋、中央緑道、籠田公園、りづら、岡崎公園など公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線。かつての岡崎城跡の「総曲輪(そうぐるわ)」の部と重なること、また、動線が「Q」の字に見えることから「OURUWA」と命名。

【QRUWA戦略】

RF地区内の豊富な公共空間を活用してパブリックマインドを持つ民間を引き込む公民連携プロジェクト。QRUWAプロジェクトを実施することにより、その回遊を実現させ、波及効果として、まちの活性化(暮らしの質の向上)エリアの価値向上を図る戦略。

【康生】

岡崎城のある岡崎公園を中心とした町の名前でもある。岡崎公園から籠田公園までの通りの名前でもある。かつては現在まで残るシビコのみならず百貨店が立ち並び、岡崎市が誇る繁華街としてのイメージをもつエリア。

さ

【桜城橋】

全長121.5m、有効幅員16mの橋。乙川河川緑地の橋として整備され公園としての使い方がき、イベントなどにも活用できる。東岡崎駅と籠田公園を結ぶ動線の二つ天下の道を形成する。

【清水先生】

清水義次さん。株式会社アフタヌーンサティ代表取締役、株式会社リノベリグ代表取締役。各地の都市再生を手掛け、岡崎市QRUWA戦略でもプロデューサーの役割を担う。リノベーションまちづくりの生みの親。

【嶋田さん】

嶋田洋平さん。株式会社らいおん建築事務所代表取締役、株式会社北九州家守舎代表取締役。リノベーションスクールを成長発展させてきた立役者で、全国でエリア再生事業のプロデュースやリノベーションプロジェクトに携わっている。

【社会実験】

「一時的な非日常をつくるイベントとは異なり、新たな制度などを導入する際、場所と期間を限定して試行することの有効性を検証したり課題を把握する実験。地域住民との意見交換や周知も兼ねている。乙川でのかわまちづくりにおける河川空間活用や、2017年OURUWA全体での社会実験「MergeQuirwa」を皮切りに、2018年からは連尺通りや康生通りの道路空間活用など場所をより限定して実施している。

た

【中央緑道】

桜城橋と籠田公園を結ぶ緑道。各ブロックごとにテーマが設定されており、電源も多く配置されていることから日常使いやイベントでもどちらでも使える緑道。歩いて楽しめる緑道。

【中央緑道・籠田公園基本設計ワークショップ】

2016年10月から12月にかけて3回にわたって実施された、中央緑道や籠田公園の使い方「暮らし方」「関わり方」のイメージを高め、それを基本設計に反映するとともに、合意形成を図るためのワークショップ。通称「OURUWA FUTURE VISION」。将来の「担い手」候補も集まり、公園や緑道の使い方の発表などを行った。

【都電家守舎】

都電沿線に拠点を持つ、南池袋公園など公共空間活用を公民連携で進める青木純、早稲田で産直販売店を営む安井浩和、目白で飲食店を営む馬場祐介によって、2013年に立ち上げたまちづくり会社。「都電テール」の運営などをこなす。

【殿橋テラス】

乙川にかかる殿橋の西南詰めの手すりを活用した仮設テラスとして期間限定の実験飲食店舗が誕生。2016年に生まれ、乙川のあたらしい風景をつくった。今後常設化を目指す。

な

【トレジャーハンティング】

まちの資源・魅力を探し出し、その活用方法をエリアの近未来や豊かな暮らしとして構想し提案するプログラム。各ユニットには日本各地で活躍する各業界のプロフェッショナルが「トレジャーハンター」として配され「地元住人代表ハンター」とともにファシリテーターの役割を果たす。

【額田】

岡崎市の東に位置する山間地域。かつては額田町という町があったが2006年岡崎市に合併された。旧町域の約9割が山地という自然豊かな地域で、近年間伐材の活用やカフェ、宿など若者たちの活動が活発化してきている。

【八丁味噌蔵】

岡崎城から西へ八丁(約870メートル)の距離に位置する八帖町にある、八丁味噌を江戸時代初期から製造している味噌蔵。八丁味噌はその地名が由来となっており、「まるや」と「カキキュー」という2社が伝統製法で造り続けている豆まその銘柄。

【二七市通り】

戦後、毎月2と7の付く日に「二七市」と呼ばれる朝市が開催される通り。八幡通りとも呼ばれる。

や

【家守】

江戸時代に不在地主に代わって長屋を管理する人のことで、店子から持ち込まれた様々な相談に乗っていた。地主から支払われる管理料などで家計を立てながら、公用(公共的なサービス)を行い、まちを治めていた。その仕組みを現代に蘇らせたのが「現代版家守」で、その仕事を担う会社を「家守会社」と呼ぶ。

【リノスク】

まちなかに実在する遊休不動産(空き家や空き店舗、空きビル、空き地)使われていない公共空間などを対象とし、エリア再生のためのビジネスプランを創り出す短期集中の実践型スクール。2011年に北九州市で第1回目が始まり、株式会社リノベリグが各地の行政と連携して実施している。「リノベリグンスクール」の略。

【リノベーション】

建物の改修といった建築的行為ではなく、既存の建物やその一部に手を加えて新たな価値をつくること。住宅のみならず、住宅を店舗へと転用する際にも活用される。日本においては1990年代から業としてリノベーションをおこなう事業者が登場し、2000年代からより一般的になった。



道路空間活用

社会実験

住民WS

通りの再生

康生通り、連尺通り、**二七市通り**において、歩道・車道空間の一部を活用して、まちの活性化や地域コミュニティの醸成を目的に、テラスとしての利用や緑化などを地域主体で日常化へ向けて実践する社会実験。



Photo:Yu Yoshikawa

籠田公園 リニューアル

活用WS

社会実験

設計プロボ

1958年(昭和33年)に戦災復興の一環として整備され、憩いの場としてだけでなく催しも多く開催され親しまれてきた公園。同くして再整備される中央緑道と一緒に再整備のために設計者の公募がおこなわれ、2016年にオンサイト計画設計事務所が選定されました。**QURUWA**戦略の一拠点として、「つどい・つながり・つづく」をコンセプトに暮らしの質の向上やエリアの価値を高めるための場所として2019年にリニューアル。公園内には複合遊具や噴水など子どもの遊び場が充実しているほか、ステージや屋根のある休憩所など様々な設備があるので幅広い楽しみ方ができるなど、「岡崎の顔」となる場所を目指しています。



Photo:Yu Yoshikawa



桜城橋完成

住民WS

P-PFI

老朽化が進む明代橋と殿橋という2本の橋の架け替えである「ツインブリッジ構想」がありました。最終的には2本の橋は長寿命化工事をおこない、代わりに1本追加で歩行者をメインとした橋をつくる方針となり、**QURUWA**の回遊動線をつなぐ人道橋が誕生します。2018年には名前の公募がおこなわれ「**桜城橋**」に決定。公民連携の取り組みとして、橋上の活用を呼びかけ、2020年に事業者が決定し、供用開始が待ち望まれます。



二七市

毎月2と7の付く日に八幡通り(**二七市通り**)で開催される朝市。野菜・果物、魚、干物といった食材の販売のみならず、揚げ物や飲み屋さんもあり、まさに地域と共にある歴史ある市場。



2020年2月10日 撮影

Photo:Yoichiro Suzuki

中央緑道の工事

住民WS

設計プロボ

桜城橋からまちなかへの主要回遊動線として、また籠田公園とつながる一体的な緑道空間が完成します。自動車空間を抑えて**中央緑道**の幅員は最大約1.7倍に拡幅され、併せて景観、防災、安全面で効果の高い無電柱化を実現しています。2018年に橋の名前の公募と籠田公園を含めたこの通りの愛称が募集され「天下の道」という名前になりました。



Photo:Yoichiro Suzuki

- 活用WS(ワークショップ)**：設計イメージを高めるために活用希望者や周辺住民の提案を反映する意見交換会
- 社会実験**：具体的な未来のイメージをつかむために、関わる人たちの手で実際に試行する取り組み
- 設計プロボ(プロボザル)**：複数の設計者が条件に対して企画提案を行い優れた提案を選定する手法
- 住民WS(ワークショップ)**：地域住民を対象に、主体性を高め継続的な関わり方の可能性をひろげながら合意形成を図っていく意見交換会
- P-PFI(パークピーエフアイ)**：公園内に民間事業者がカフェや施設などをつくり、公共と民間が一緒になって公園全体の価値を高める手法

日付	タイトル	場所	講師・委員
1.11	リノベーションまちづくり勉強会 ～リノベーションによるエリア再生と新しい建築の仕事～	Camping Office osoto	嶋田洋平(らいおん建築事務所)
1.24	第1回 岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所西庁舎7階会議室	岡崎商工会議所/岡崎ビジネスサポートセンター/ 愛知県宅地建物取引業協会西三河支部/日本政策金融公庫/岡崎市
3.22 10:00-12:00 13:30-15:30	おもしろがり屋、募集！ 「これからリノベーションしちゃうぞツアー」	wagamamahouse(集合) →康生地区一帯へ	
3.27	第2回 岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所西庁舎7階会議室	岡崎商工会議所/岡崎ビジネスサポートセンター/ 愛知県宅地建物取引業協会西三河支部/日本政策金融公庫/岡崎市
3.28	wagamama なお話し会 「らしく働きらしく暮らす」	wagamama house	●話し手 中根りえ(wagamama house) ●ゲスト 伊藤菜衣子(暮らしかた冒険家)
8.6	第1回 岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所西庁舎7階会議室	岡崎商工会議所/岡崎ビジネスサポートセンター/ 愛知県宅地建物取引業協会西三河支部/日本政策金融公庫/岡崎市
2019/11 -2020/3	これからの〇〇を考えるプロジェクト「INC」	wagamamahouse TAC-MATE	●プロジェクトメンバー 武部敬俊/原田祐馬/橋原充大/山田卓哉/山田高広 ●ゲスト 11月23日 園田崇匡(大衆食堂スタンドそのだ) 12月8日 原田祐馬(UMA/design farm) 12月15日 野村由芽、竹中万季(She is) 1月18日山道拓人(ツバメアーキテクト) 2月15日多田智美(MUESUM)

日付	タイトル	場所	講師・委員
6.29	第1回 岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所西庁舎5階会議室	岡崎まち育てセンター・りた / まちづくり岡崎 / 岡崎市
7.12 9.18 10.14	家守構想検討委員会	図書館交流プラザ1階ホール 図書館交流プラザ3階会議室 岡崎市社会福祉協議会 サービスセンター2階	●総合プロデュース 清水義次(アフタヌーンソサエティ) ●まちづくり団体 ●地元商店主 ●不動産オーナー ●不動産業 ●事業オーナー ●専門家
10.14	リノベーションまちづくりシンポジウム2015 @岡崎 vol.1	岡崎市社会福祉協議会 サービスセンター2階	●ゲスト 嶋田洋平(らいおん建築事務所) ●ナビゲーター 清水義次(アフタヌーンソサエティ)
11.12	家守構想検討委員会	岡崎市社会福祉協議会 サービスセンター2階	●総合プロデュース 清水義次(アフタヌーンソサエティ) ●まちづくり団体 ●地元商店主 ●不動産オーナー ●不動産業 ●事業オーナー ●専門家
12.8	リノベーションまちづくりシンポジウム2015 @岡崎 vol.2	岡崎市社会福祉協議会 サービスセンター2階	●ゲスト 西村浩(ワークヴィジョンズ) ●ナビゲーター 清水義次(アフタヌーンソサエティ)
12.8-9	岡崎家守塾2015	岡崎市社会福祉協議会 サービスセンター2階	●塾長 清水義次(アフタヌーンソサエティ)

日付	タイトル	場所	講師・委員
2.17	リノベーションスクール @岡崎 大同窓会	Camping Office osoto	
3.15	岡崎リノベーションまちづくりビジネス開拓会議	Camping Office osoto	●リノベーションまちづくり実行委員会 ●地元不動産事業者等 ●地元商店主 ●まちづくり岡崎 ほか
4.18	第2回 岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所西庁舎1階会議室	三河家守会/まちづくり岡崎/岡崎市
10.16	愛知県宅地建物取引業協会 西三河支部 平成30年度 第2回 実務研修会	岡崎市民会館 会議棟2階 大会議室	嶋田洋平(らいおん建築事務所)
11.16 -18	官民連携まちづくり塾@岡崎	Camping Office osoto	●スクールマスター 西村浩(ワークヴィジョンズ) ●アドバイザー 山田高広(三河家守会)/岡崎市 ●ライブアクター 村瀬亮(Snow Peak BusinessSolutions)/長谷川浩己(オンサイト計画設計事務所)/ 中根りえ(wagamama house)/清水義次(アフタヌーンソサエティ)/岡崎正値(オガール)/岡崎市
12.18	リノベーションスクールアフターフォロー+α会	クラスパークビル エキュメ	宮崎晃吉(HAGISTUDIO)

日付	タイトル	場所	講師・委員
2.18 -19	まちのトレジャーハンティング @岡崎 ※QURUWA事業	岡崎シビコ6階	●トレジャーハンター 明石卓巳(レイデックス)/岩本唯史(RaasDESIGN)/瀬川翠(シェアハウス「武蔵境アンモナイト」)/ 西村浩(ワークヴィジョンズ)/林厚見(スピーク) ●ハンター使い 青木純(まめくらし) ●トークライブゲスト 柿原優紀(Tarakusa)/影山知明(クルミドコピー)
4.14 -16	リノベーションまちづくりサミット!!! 2017 ※民間事業	3331アーツ千代田	●プレゼンター 清水義次(アフタヌーンソサエティ)/嶋田洋平(らいおん建築事務所)/青木純(まめくらし) ※岡崎の取り組みを紹介
4.25	第1回 岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所西庁舎1階会議室	三河家守会/まちづくり岡崎/岡崎市
9.12	リノベーションまちづくり2017 @岡崎 まちなか談話「お店と通りの再生」	図書館交流プラザ りぶらホール	●ゲストスピーカー 嶋田秀範(ワークスーフ) ●ナビゲーター 清水義次(アフタヌーンソサエティ)
9.13	リノベーションまちづくり情報交流会	市役所西庁舎1階会議室	アフタヌーンソサエティ/未来城下町連合/明大寺商店街連合会/龍田商店街/岡崎信用金庫/岡崎商工会議所/ 岡崎ビジネスサポートセンター/三河家守会/まちづくり岡崎/岡崎まち育てセンター・りた/ほか
9.30	ポテンシャル物件先取りツアー vol.2	龍田公園ステージ前集合 → 康生地区一帯へ	清水義次(アフタヌーンソサエティ) 西村浩(ワークヴィジョンズ)
10.28	おかあさんの はたらき方 暮らし方 wagamamahouse 中根りえのお話会	龍田公園	中根りえ(wagamama house)
11.8	リノベーションスクールイベント 聞かせて先輩 ～リノベーションスクールのその後～	wagamama house	清水義次(アフタヌーンソサエティ) 西村浩(ワークヴィジョンズ)
12.1 -3	第3回リノベーションスクール@岡崎	ユニットワーク等 =wagamama house/ Camping Office osoto 公開プレゼンテーション =春ビル	●ユニットマスター 吉里裕也(スピーク)/瀬川翠(シェアハウス「武蔵境アンモナイト」) ●スクールマスター 西村浩(ワークヴィジョンズ) ●ライブアクター 東海林諒宣(SeeVisions)

日付	タイトル	場所	講師・委員
2.12 -14	第1回リノベーションスクール@岡崎	岡崎市社会福祉協議会 サービスセンター2階 春ビル1階	●ユニットマスター 嶋田洋平(らいおん建築事務所)/西村浩(ワークヴィジョンズ)/小野裕之(greenz.jpプロデューサー) ●スクールマスター 清水義次(アフタヌーンソサエティ) ●ライブアクター 市来広一郎(machimori) 三浦丈典(スターパイロット)
2.29	第2回岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所商工労政課会議室	岡崎まち育てセンター・りた/まちづくり岡崎/岡崎市
3.24	家守構想検討委員会	図書館交流プラザ3階会議室	●総合プロデュース 清水義次(アフタヌーンソサエティ) ●まちづくり団体 ●地元商店主 ●不動産オーナー ●不動産業 ●事業オーナー ●専門家
4.19	第1回岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会	市役所西庁舎7階会議室	岡崎まち育てセンター・りた/まちづくり岡崎/岡崎市
4.25	リノベーションスクール@岡崎 アフターフォロー	クラスパークビル	嶋田洋平(らいおん建築事務所)
5.28	マネーの獅子 ※民間事業	3331アーツ千代田	●審査員 吉里裕也(スピーク)/馬場正尊(Open A)/西村浩(ワークヴィジョンズ)/ 大島芳彦(ブルーススタジオ)/林 厚見(スピーク)/嶋田洋平(らいおん建築事務所)
6.11	気になる家守の会	クラスパークビル	●パネリスト 清水義次(アフタヌーンソサエティ)/嶋田洋平(らいおん建築事務所)/ 宮本恭嗣(ENdesign)/山田高広(岡崎まち育てセンター・りた)
7.16	壁塗りワークショップ「Handiペイントバーリー」	wagamama house	加藤溪一(HandiHouse project)/バーリー建築
8.17	リノベーションまちづくりシンポジウム2016 @岡崎 vol.3	龍田公園 (雨天時:グラスパークビル)	馬場正尊(Open A)
9.14	リノベーションまちづくりシンポジウム2016 @岡崎 vol.4	クラスパークビル (晴天時:龍田公園)	倉石智典(MY ROOM)
9.14	ポテンシャル物件先取りツアー	龍田公園ステージ前集合 → 康生地区一帯へ	
9.21	ブレリノベーションスクール	クラスパークビル	●ユニットマスター 嶋田洋平(らいおん建築事務所) / 馬場祐介(都電家守会)
10.5	wagamama house OPEN	wagamama house	
10.21 -23	第2回リノベーションスクール@岡崎	岡崎シビコ(CIBICO) 6階 他	「ビジネススタートアップクリエイティブコース」 ●ユニットマスター 瀬川翠(シェアハウス「武蔵境アンモナイト」)/福井信行(ルーヴィス)/三浦丈典(スターパイロット) ●スクールマスター 嶋田洋平(らいおん建築事務所) ●ライブアクター 明石卓巳(レイデックス)/渡辺潤平(渡辺潤平社) 「このまちの新しい暮らし方。」 明石卓巳(レイデックス)/渡辺潤平(渡辺潤平社)/桜林直子(SAC about cookiesオーナー)/馬場祐介(なるたけ店主)
11.10	家守table	クラスパークビル	清水義次(アフタヌーンソサエティ)/宮本恭嗣(ENdesign)
11.30	家守table	クラスパークビル	清水義次(アフタヌーンソサエティ)/宮本恭嗣(ENdesign)
12.22	第2回リノベーションスクール アフターフォロー	クラスパークビル	事業者/三河家守会他/瀬川翠(シェアハウス「武蔵境アンモナイト」)
12.26	家守table	クラスパークビル	清水義次(アフタヌーンソサエティ)/宮本恭嗣(ENdesign)

登場人物

まちの変化を支えてきた人々

：辞典参照



サイトウレオ

P.05

P.08



堀竜二

OKAZAKI SEIZAI

岡崎製材

第1回スクールOBとして、家具からイベントの木什器まで、細かな依頼に親身になって応えてくれます。おなじみのwagamamaの屋台やteraco8の黒板、アウトドアウェディングのガゼボなど。



長尾晃久

P.04

P.05



中根りえ



山田高広

三河家守舎

猪突猛進の山田高広さん(スクールOB)と冷静沈着な稲垣淳哉さん(スクールOB)のコンビ。グラスパークビル(※4頁)やwagamama house(※4頁)、TAC-MATE(※5頁)を家守として再生。連尺通りの社会実験やイベント、ローカルメディア、籠田公園活用など身の回りの出来事をまちの出来事につないでいく役割を担っています。



飯田圭

P.05

P.09



岡崎市役所(商工労政課 都市施設課)

リノベーションまちづくりとQURUWA全般の事業をそれぞれ担当しています。「まちの活性化」と「公民連携」を推進しています。

P.09

wagamama house



wagamama house

七市通り沿いにある元家具屋を改修したお総菜屋さん。スクールOGの中根りえさんが中心となって岡崎に住むママたちが自分たちで運営している点の特徴。リノベーションスクールで生まれた事例のひとつであるだけでなく、ポップアップショップ、baton market、公共空間活用の社会実験など、QURUWAでの取り組みのハブの大事なひとつになっています。



梶谷智樹

P.08



近藤みなみ

P.09



山本倫子

P.09

P.08



下里杏奈

山田美法

LEMON

檸檬

スクールOGの下里杏奈(Editor/Trapper)と山田美法(Designer/Spicer)によるユニット。「日常に違和感を生み出すこと」をテーマに、ポップアップスナックや屋上イベント、連尺生活社会実験のしかけ、「ハワユー」(※10頁)の編集執筆もこのチーム。



鶴田圭介

P.04



榊原節子

P.04



studio 36

深澤愛佳

畑克敏

足立拓哉

studio36

畑克敏さん、深澤愛佳さん、深澤創一さん(スクールOB)、足立拓哉さん(スクールOB)の異なる領域や役割を持つ4人の建築家ユニットが誕生。企画～設計～施工まで一貫したプロジェクトを展開中。Micro Hotel ANGLE(※5頁)はその象徴。

P.08

KERUN

連尺通りにある一隆堂ビルにオフィスを構えるデザイン事務所。代表は岡田侑大さん。連尺ブラッグプロジェクト、ウェブサイト「連と尺」(※10頁)、このパンフレットのデザインなど幅広く活躍。

岡田侑大

P.09

setsuko sakakibara Architect & Assoc.



榊原節子建築研究所

岡崎生まれ、大阪拠点の頼りになる建築士さん。小さい頃は籠田公園周辺でよく遊んでいたそう。リノベーションスクールのOGでもあり、ICHIRYUDO BUILDINGやみんなのうちの設計を担当。

復
習

「風習」という言葉にあまり親しみのない人もいるかもしれません。「風俗習慣」のことで、あるエリアならではの生活や行事のならわしのことを言います。風習がより広く受け入れられるようになると「文化」と呼ばれるようになるそう。

今回私たちが伝えたかったのは、ある取り組みによって岡崎に「化学反応」が起こり、これまでとは違う「新しい風習」が生まれる、そんな状況です。「入門」とタイトルにつけているのは、そんな状況を少しでも紹介できればという思いからです。

この冊子では、そんなひとつの「取り組み」として、リノベーションまちづくりが選ばれていますが、もちろん岡崎というエリアでこれまでも多様な取り組みがおこなわれ、これからもおこなわれていくはず。

言い換えると、ここに集められたQURUWAの変化やその背景で活躍する方々のコメントは、あくまでもこの冊子がつくられた2020年現在のものであって、これからもどんどん変化していくということです。新しい「風習」がたくさん生まれ、その中には「QURUWAの風習」から「岡崎の文化」になるものもあるかもしれません。

これからさらに時間が経って、「入門(続)」がつくられたり、入門にとどまらず「応用編」がつくられたりと、どんどん展開していくことを期待しています。

QURUWA 新風習入門

ー リノベーションまちづくりの化学反応 ー

発 行 2020年3月31日
制 作 株式会社都市機能計画室
制作協力 山田高広 (三河家守舎)
デザイン 岡田侑大 (KERUN)
監 修 株式会社リノベリング
刊 行 岡崎市リノベーションまちづくり実行委員会